

平成 29 年度 野々市市総合防災訓練実施要領

1 日時

平成 29 年 8 月 20 日（日）午前 8 時から 12 時まで（予定）

2 会場

野々市市内の一時的避難場所及び拠点避難所

3 趣旨

災害発生時における実際の行動に即した訓練を実施することにより、初動体制を強化し、地域防災力の向上を目指す。

本年は、安否確認、避難行動要支援者の支援及び避難所運営会議を重点項目とする。
(5 か年計画で内容充実)

4 訓練想定

平成 29 年 8 月 20 日、午前 8 時頃、富樫断層を震源とするマグニチュード(M)7.0 の地震（震度 6 弱）が発生し、家屋の倒壊、火災の発生、水道施設の破損、道路・橋りよの損壊、交通道路網の混乱等があり、多数の負傷者が発生した。

5 主催

市内 54 町内会・自主防災組織、野々市市

6 参加機関等

(1) 拠点避難所 10 指定校

(市内小中学校、石川県立野々市明倫高等学校、石川県立大学、金沢工業大学)

(2) 野々市市消防団（第 1 分団、第 2 分団、第 3 分団、第 4 分団、第 5 分団）

(3) 白山野々市広域事務組合野々市消防署

(4) 白山警察署

(5) コミュニティ FM 放送局 えふえむ・エヌ・ワン

(6) 金沢地方气象台

(7) 北陸電気保安協会

(8) ユーエスカートン株式会社

(9) 千代田機電株式会社

(10) NTT 西日本

(11) 金沢脳神経外科病院

(12) 公立松任石川中央病院

(12) 石川県災害ボランティア会

(13) 金沢工業大学防災・減災プロジェクトチーム S o R A

(14) 愛知県東浦町

(15) 京都府城陽市

7 訓練項目

(1) 町内会及び自主防災組織

① 共通訓練

- ア 地震発生時の安全行動訓練（しゃがむ、かくれる、じっとする、火の始末等）
- イ 避難訓練（一時的避難場所への避難及び避難誘導）
- ウ 避難者把握訓練（名簿等を活用し把握するとともに人の振り分けを行う）
- エ 安否確認訓練（一時的避難場所に避難していない市民の安否を確認）
- オ 避難行動要支援者の支援訓練（避難行動要支援者名簿を活用するなど、避難行動要支援者の把握や自宅訪問などを行う）
- カ 集団避難訓練（各町内会の一時的避難場所より拠点避難所への集団徒歩避難）
- キ 情報収集・伝達訓練（拠点避難所における避難者名簿作成）
- ク 体験訓練（救急救命及び応急手当、間仕切り及び簡易ベッド組立等）

② 個別訓練（町内会の判断で実施するもの）

町内会独自の訓練（炊き出し訓練や消火訓練等）

(2) 避難所運営委員会

避難所運営訓練（避難所開設、避難者把握、非常通信、備蓄品展示、組立式トイレ組立、避難所運営委員会開催等）

(3) 市及び拠点避難所指定校

- ア 地震発生時の安全行動訓練（しゃがむ、かくれる、じっとする、火の始末等）
- イ 職員参集訓練
- ウ 災害対策本部運営訓練（本部設営、情報収集、避難所開設、避難者把握、非常通信等）

(4) コミュニティFM放送局 えふえむ・エヌ・ワン

緊急放送訓練（地震情報、避難の指示及び避難誘導、被害状況など）

(5) 野々市市社会福祉協議会

- ア 地震発生時の安全行動訓練（しゃがむ、かくれる、じっとする、火の始末等）
- イ 職員参集訓練
- ウ ボランティアセンター設置訓練（本部立ち上げ、避難所ニーズ調査、福祉避難所整備等）

8 その他

- (1) 事故防止に十分注意してください。
- (2) 服装は、災害時の活動に適したものを着用してください。
- (3) 帽子の着用、水筒を持参するなど熱中症に気をつけてください。
- (4) 荒天の場合は、訓練を中止します。
- (5) 訓練中止の場合は、当日午前7時ごろ、防災行政無線にて中止放送を行います。
また、参加機関等については、午前7時までには電話連絡します。
- (6) この総合防災訓練は、防火防災訓練災害舗装等共済に加入しています。